



川面と描く「恋人の聖地」

二俣渡 (熊本県美里町)

熊本県中部の美里町には、静かな山あいに35基もの石橋が架かる。きれいなアーチが特徴的な眼鏡橋は、種山石工ら職人集団が江戸時代からつくり始めた。中には、平成になってから「恋人の聖地」として人気の写真スポットになっている橋もある。

釈迦院川に美しいアーチを描いてかかる石橋「二俣渡」に日が差すと、橋が落とす影にふちどられて、ハートの形が川面にくっきりと浮かび上がった。ここで合流する津留川には、乱積みされた壁石と輪石の曲線がよく似た「二俣福良渡」。あわせて「双子橋」とも呼ばれる。

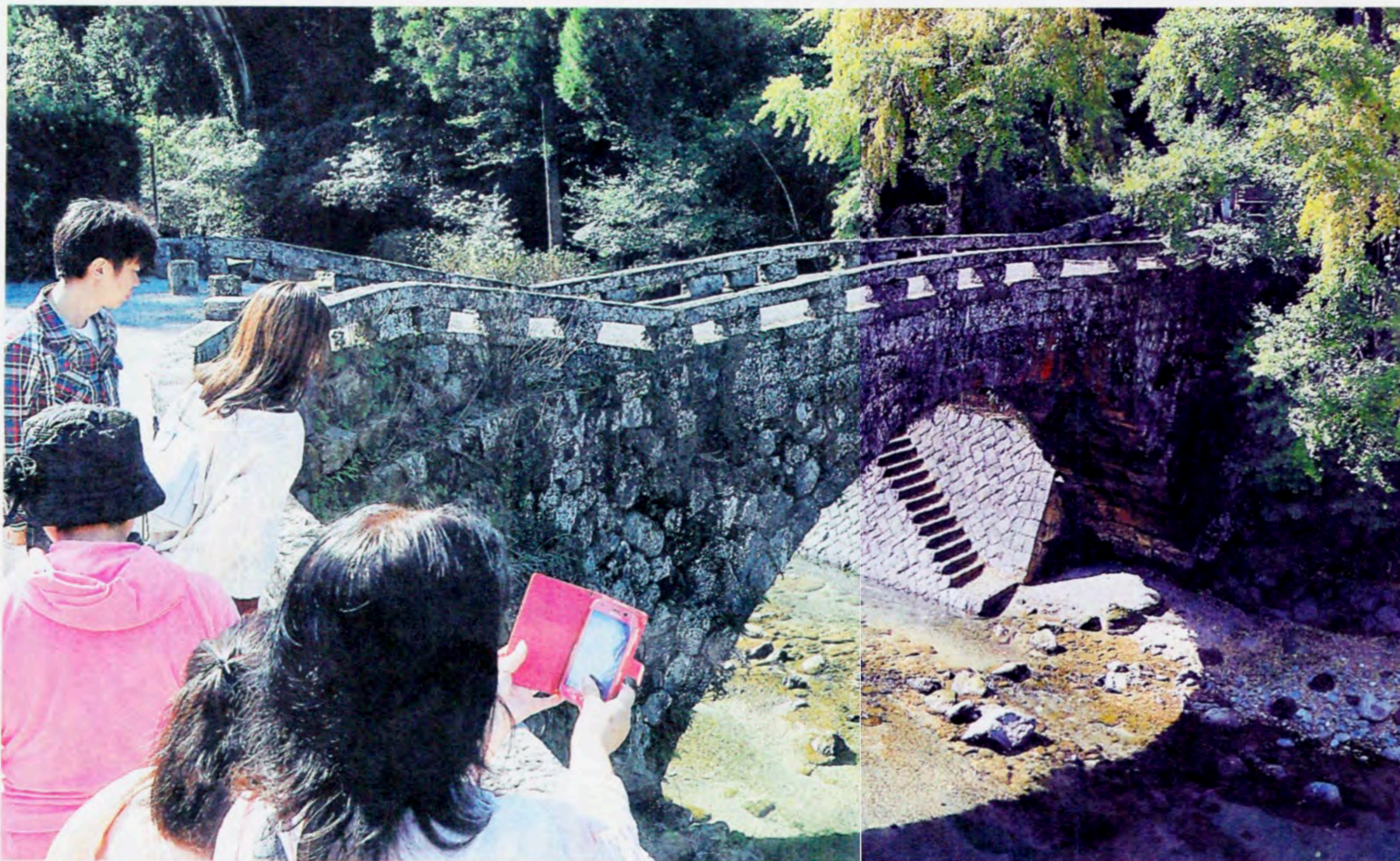
熊本の技術集団「種山石工」の嘉八によって、1829〜30年に架けられたと言われる。大正以降に近くでできた3基の橋も合わせて「二俣五橋」。ただ、あのハートは平成に入ってから護岸工事をしたために生まれた偶然の産物で、石工たちも予想外だったに違いない。

東京の万世橋や熊本県山都町の

の通潤橋をつくったことで有名な種山石工の本拠地は現在の同県八代市東陽町にあり、隣接する美里町にも多くの石橋が残されている。200年にわたり田畑を潤す水道橋の雄亀滝橋や、日本最大級の単一アーチ式石橋の霊台橋も彼らの作品。町内を巡れば、至る所で種山石工をはじめとする肥後石工の技術の粋を垣間見られる。

約200年街道での往来を支えた双子橋だが、2016年4月の熊本地震では二俣福良渡が被災し、壁石が崩れた。1年半ほど橋を見られなかったが、修復後は再び人が戻りはじめ、今年5月には「恋人の聖地観光交流大賞」に選ばれた。

二俣渡のハートは、主に10月から2月、午前中から昼過ぎにかけて楽しめる。特に形が整うのは、11月の午前11時から30分間。イチヨウの紅葉の見頃でもあり、結婚式の前撮りに訪れるカップルもいる。(吉備彩日)



二俣渡の下に浮かび出たハート形に、訪れた人から「すごい！」と声があがる。10月20日、熊本県美里町小笠

九州自動車道御船インターチェンジから車で20分ほど。国道445号を山都町方面に東へ進み、国道443号を甲佐・美里町方面へ南下する。松橋インターチェンジからは国道218号を美里・山都町方面に東へ進む。熊本市内からは路線バスもある。



Misato Machi! マップ 松田ひかり



プレゼント

ヒノヒカリの新米5kgを3人に、お茶の詰め合わせを4人にプレゼントします。どちらも美里町産。米は沖縄のサンゴを混ぜたこだわりの土で栽培され、

栄養たっぷり。お茶は佐俣の湯の宿泊ロッジで使用され客にも好評な山下製茶のかぶせ茶など緑茶3種。応募は、はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、記事の感想を書いて、〒860・0806、熊本市中央区花畑町4の10、朝日新聞熊本総局「旅しよ!」係へ。8日(木)必着。

味わう



やまめ茶屋 (0964・47・1239) では、川のせせらぎを聞きながらヤマメ料理を味わえる。人気の「やまめ定食」では、取れたてを塩焼きや甘露煮で食べられる。単品では30円超えの大尺ヤマメの活き造りも。紅葉の時期には景色を楽しみながら食事できる。営業は午前11時から午後3時。午後6時以降も予約に限り受け付ける。木曜定休。1・2月は土日祝日のみ営業。

楽しむ



道の駅・佐俣の湯 (0964・46・4111) では、川辺の木々に囲まれた露天風呂や岩風呂などを楽しめる。アルカリ性でなめらかな泉質で旅の疲れを癒やせる。予約すれば、家族湯の利用や温泉付きコテージでの宿泊も可能。入館料は大人(18歳以上)500円、中高生300円、小学生200円、未就学児無料。営業時間は午前10時から午後9時半。第2木曜(祝日の場合は翌日)は休館。

今回は9日。恋の神様をまつる神社がある福岡県筑後市の水田天満宮を訪ねます。